

3 学年だより

2022 年 12 月 20 日発行

あと **18 日**

怒涛の 2 学期が終わりました

2 学期が終わりました。9 月の就職試験に始まり、総合型、AO、公募推薦、指定校推薦入試に取り組み、同時に 3 年に 1 度の公開文化祭である福商祭にも全力で取り組みました。また、バレーボール部は春高バレーの切符をかけた戦いにも臨みました。まだこれから受験という人もいますが、高校 3 年間で最も悩み、考え、相談して準備を行い、緊張した日々を送って来ました。今から振り返ると本当によく頑張っていたと思います。暑かった季節から雪の降る季節までの 4 か月、一人ひとりの姿が輝いていた 2 学期でした。

さて、まだ進路に向けて真剣に取り組んでいる人がいます。進路が内定しても自分がやるべき課題に取り組み、より高みを目指して卒業まで学習を続けてください。人間は何歳になっても自分を進化させるために学んでいくことが大切です。

忙しい毎日を送っていると「これ、いやだな」「なんでこんなことしなくちゃいけないの?」「もう、やめちゃおうかな」そうした感情が沸き上がるかもしれません。でも、「嫌だな」と思ったときこそ、「なぜ、これをしているのだろうか?」と自分に問いかけましょう。「なぜ?」と問いかけることで初心を思い返すことができます。「やりたくない」そんな感情を味わったら、ちょっと立ち止まって考えてみよう。

理由はどうあれ、なぜそれをやるのか明確な自覚を持つことが大切。 アマルティア・セン (ノーベル経済学賞/経済学者)

人生の中で自分の思い通りに進めることは難しく、完璧な準備が必ず良い結果につながるという保証はありません。準備して臨んだにも関わらず、ひどい結果に終わってしまったとき、悔いが残るあまりに、「うまくいくなてずっとムリ」「僕は負け犬だ」なんて、自分の人格まで攻撃してしまうと、せっかく培った自信もすぐに消え去ってしまいます。

勝負どころで頼れるのは、「あのとき俺は勝ったじゃないか」というよりも、「あのとき自分は逃げなかったじゃないか」というほうが、明らかに自信につながります。

自分の「立ち上がり際」が自信になる。 為末大 (元陸上選手)

本物の自信は、過去の成績や結果から来るものではなく、困難な状況や場面に立ち向かい、何度転んでも起き上がってきた経験かもしれません。

これまでの高校生活で多くの困難に遭遇してきたことと思います。しかし、進路に、福商祭に、部活動に必死に取り組んできたみなさんだからこそ、4 月からの新しい人生に向かってもうひと踏ん張りして自分を高めよう!

あなたはどんな自分でありたいですか?

1~3月の行事予定

1月

- 11日 3 学期始業式
個人写真撮影
4 大課題テスト
- 12日 就職者内定指導
- 13日 個人写真撮影
- 22日 全商簿記検定
- 26~31日 学年末考査
- 29日 全商情報処理検定

2月 家庭学習

- 21日 登校日
服装頭髪指導
進路体験発表会
- 28日 卒業式予行
表彰式

3月

- 1日 卒業式
- 30日 離任式

2 学期末 賞状伝達式

☆第 75 回 全日本バレーボール高等学校選手権大会
福島県代表決定戦 兼
第 50 回 FTV 杯争奪福島県
高等学校バレーボール選抜
優勝大会 **準優勝**

男子バレーボール部

☆第 67 回 情報処理検定試験
ビジネス情報部門
第 1 級

満点賞 3-6 塩谷藍竜

☆第 21 回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園

準グランプリ 3-3 星 陽向

奨励賞 3-4 佐藤結衣

3-4 嶋原愛美

